

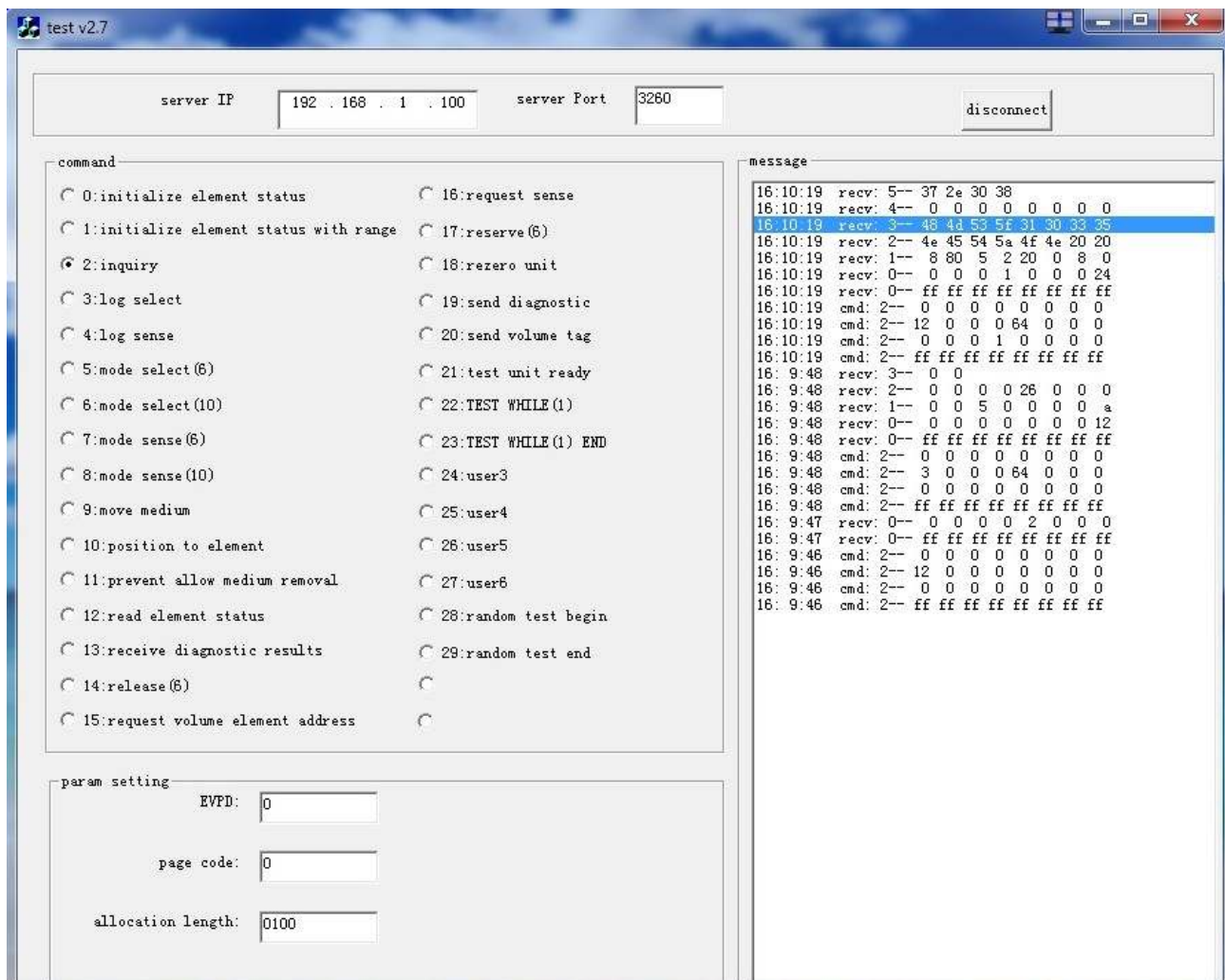
## Netzon チェンジャーを DVD ビデオ閲覧システムで使用する際のメディア移動のコマンドについて (2014/7/26)

有限会社オプティカルエキスパート

公立図書館での DVD ビデオの自動鑑賞システムでは、従来から SCSI 接続の DVD チェンジャーが使用されています。この DVD チェンジャーを Netzon の HMS シリーズで置換える場合には、チェンジャー制御用のインターフェイスが SCSI から iSCSI に変更されます。通常の iSCSI には、デバイスを使用するにはログインする必要がありますが、ログインは不要です。Netzon チェンジャー自体は、iSCSI のターゲットとして動作しているので、iSCSI のパケットにチェンジャー制御用の SCSI コマンドを埋め込んで送るとチェンジャーとして動作し、ステータス等が戻って来ます。

チェンジャー制御用のコマンドを出力して動作させたり、ステータスを取得することを実行出来るテスト用のプログラムを提供出来ます。以下が、スクリーンショットです。

一番上の serverIP で、テストする Netzon チェンジャーの IP アドレスを指定します。ポート番号は、デフォルトでは 3260 になっています。以下の例では、接続済みのため、disconnect ボタンになっていますが、未接続の場合はここが Connect になっています。画面の左側が、制御コマンドの一覧になっており、実行するコマンドを選択し、下側の allocation length や page 情報を入力して、右下の Send ボタンをクリックすると送信されます。画面の右側にはチェンジャーからの戻り値が表示されます。



このテストプログラムのソースファイルも提供可能です。

制御用コマンドに関しては、他社の DVD チェンジャーと同様に SCSI の Changer Device の仕様とほぼ同じです。エレメントアドレスは以下の通りです。

メディアスロットアドレス	1 から使用するチェンジャーのスロット数まで、例えば 350
ドライブ 1 のアドレス	32768(ドライブ 2 は、32769)
搬送ユニットのアドレス	40960
メールスロットのアドレス	36964

スロットとドライブ間でメディア移動を行うための MoveMedium コマンドを実行する場合には以下のように指定します。

Meduim transport address: 40960 に指定

Source address: 1-350(slot)、ドライブの場合 32768/32769 (driver1/2)

Destination address: ドライブへ移動 32768/32769 (driver1/2) ドライブからスロットに戻す場合 1-350(slot)

スロットからドライブへの移動は、Source をスロットに Destination をドライブに指定します。ドライブからスロットに戻す場合は、Source をドライブに、Destination をスロットに指定します。

ドライブに入っているメディアをまとめてそれぞれ元のスロットに戻すためには、Rezero コマンドも使用出来ます。